

# 兵庫県立 考古博物館 NEWS Vol.14



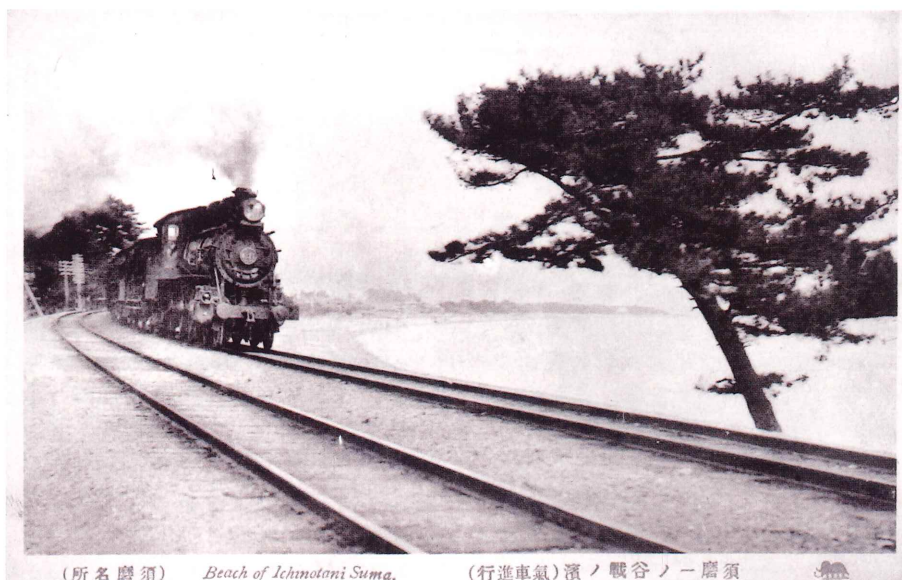
Hyogo Prefectural  
Museum of  
Archaeology



2014 Autumn-Winter

## 鉄道がきた!

—舟運・海運・馬車道・鉄道—



(所名 磨須) Beach of Ichnotani Suma.

(行進車氣) 濱ノ戦谷ノ一磨須

須磨一ノ谷戦ノ浜(気車進行)(須磨名所)(絵葉書) 個人蔵 パネル展示

平成26年秋冬号

■ 特別展「鉄道がきた!—舟運・海運・馬車道・鉄道—」・・・2

◆ ドキドキ、ワクワク 今年もやります!「全国古代体験フェスティバル」・・・4

◆ 企画展「ひょうごの遺跡2015—調査研究速報—」・・・5

◆ 海外の博物館との交流 ・・・5

◆ 研究ノート 古代官道「大市駅家と山陽道」・・・6

◆ 「恋するフォーチュンクッキー 考古博ver.」公開中!・・・7

◆ 県立高校生によるスマホアプリ「博物館ナビ」の開発・・・7



大阪～神戸鉄道開通140年記念特別展 阪神・淡路大震災20年展

## 「鉄道がきた！—舟運・海運・馬車道・鉄道—」

平成26年10月4日(土)～11月30日(日)

1872年(明治5)9月(旧暦)、新橋－横浜間に初めて鉄道が開通し、1874年5月には大阪－神戸間が開業しました。それ以降、多くの路線が敷設され、わが国の交通は、従来の川や海を利用した水運から、鉄道による陸運へと大きく変貌をとげていきます。

近年、汐留遺跡(東京都)の発掘調査によって「新橋停車場」の駅舎や関連施設のあり様が明らかにされ、近代遺跡の事例として注目を集めました。県内でも神戸ハーバーランド遺跡(神戸市)をはじめ豆腐町遺跡(姫路市)や明石城武家屋敷跡(明石市)など、いくつかの遺跡から鉄道関係の遺構や遺物が出土しています。

この展覧会は、幕末から明治・大正期までを対象とし、県内の鉄道関連遺跡から出土した遺物や遺構を紹介するとともに、近代化を牽引した鉄道を基軸に、舟運・海運や馬車道と鉄道との関係や、鉄道網の拡大と地域産業との関係などを垣間見ようとするものです。

## プロローグ 近世から近代へ

### — 幕末・明治の交通事情

近世から近代へと時代が移り変わるなかで、明治政府が全国的運輸機構を具体的に構成する交通・運送手段として、従前の陸上交通・水上交通を補完し、より一層効率化する内陸舟運、これらと河口港等を結節点とする海上船舶、それに鉄道を加えていった様子を示します。

## I 鉄道がきた！(1870年代～)

### — 鉄道と海運

日本の近代化において、鉄道は重要な役割を果たしました。交通・運輸の分野において、最新式の蒸気鉄道や蒸気船と並んで、乗合馬車や馬車鉄道、洋式帆船など、欧米諸国では一時代前となった交通手段も相次いで導入されました。これらの新旧の交通手段は、鉄道と洋式海運に集中した政



東京両国通運会社川蒸汽往復盛栄真景之図  
(神戸大学海事博物館蔵)



123号機関車(大阪-神戸間開業時走行)  
宮津海陸運輸株式会社蔵/写真提供 原品：重要文化財  
パネル展示

府の助成策のもとで、競合もしくは相互に補完し合いながら、1900年(明治33)頃までに、鉄道と汽船を柱とした近代交通・運輸体系に組み込まれていきました。

- 1 新橋－横浜、大阪－神戸間の開通
- 2 海運の展開

## II 鉄道延伸の時代(1880年代～)

### — 私鉄・山陽鉄道の開業

明治初期の殖産興業政策や西南戦争により、政府は財政難に陥り、路線延長に行き詰まりました。このような状況下で、1881年(明治14)に設立された民間資本の日本鉄道会社は、政府の保護の下にめざましい成果をあげ、鉄道企業勃興の一因となります。

日本鉄道と並ぶ5大私鉄の一つ山陽鉄道会社は、1888年(明治21)貿易港を擁する神戸と馬関(現、下関)を結ぶために設立されました。その山陽鉄道に関する資料を紹介します。

鉄道導入当初は、車両もレールも鉄橋も外国製で、トンネル掘削はお雇い外国人が指導し、機関車の運転やダイヤの作成もお雇い外国人が行いました。しかし日本人は外国人に学びながら徐々に技術力を蓄え、順次国産化していきました。ここでは、明治初期の鉄道史や技術史の資料として近年注目されている「九鬼家鉄道関係資料」(九鬼隆章氏蔵 三田市指定文化財)などを紹介します。

- 1 山陽鉄道の敷設
- 2 鉄道技術の自立

## III 兵庫県の南北連絡路線の敷設(1890年代～)

### — 馬車道・舟運の終わり

山陽鉄道は1888年(明治21)に兵庫－姫路間を



開業させ、さらに翌年、兵庫と官設鉄道の神戸駅を結んで東海道本線とつながり、姫路－竜野間が開通しました。その後、1894年（明治27）には広島まで開通し、神戸－広島間で全国初の急行列車が運転されました。このように山陽地方（瀬戸内海側）の鉄道が延伸されてくると、内陸部へ、さらに山陰地方（日本海側）へと連絡する鉄道の敷設が計画され、日本海側の重要な軍港となった舞鶴に至る路線申請が多く見られます。

この時期から開通していった兵庫県内の南北連絡路線を紹介するとともに、鉄道と並行もしくは共存してきた馬車道や舟運などの旧来の輸送手段が、汽車鉄道へと移り変わる様子を示します。

- 1 生野鉾山寮馬車道と播但鉄道
- 2 山陰本線の敷設
- 3 加古川舟運と阪鶴鉄道・播州鉄道
- 4 揖保川舟運と龍野電気鉄道

#### IV 地元ゆかりの私鉄（1910年代～）

## 一 山陽電鉄と別府鉄道

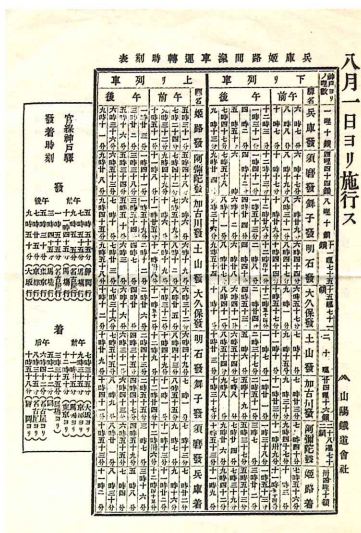
明治末年から大正年間に敷設され、考古博物館のお膝元播磨町をはじめ沿線諸地域の発展に寄与してきた2つの私鉄、現在の山陽電鉄と、すでに廃線となった別府鉄道を紹介します。

- 1 山陽電気鉄道  
2 別府鉄道

## エピローグ 昭和～現代まで — 交通の発展

明治から昭和戦前期までの間には、多くの鉄道路線が敷設されました。第二次大戦後から高度経済成長期以降は、モータリゼーションが進展するなかで、廃止される鉄道もありました。他方、東海道新幹線が登場し、新幹線網は全国的に展開されつつあります。

近年、日本人の余暇時間が増加したことにより、レジャー旅行のブームがもたらされています。それに応えるべく、豪華列車や豪華客船が建造されるなど、交通・運輸のサービスの多様化も進んでいます。  
(学芸課 松井良祐)



山陽鐵道兵庫姫路間汽車運転時刻表  
(1889年〔明治22〕8月改正) 個人蔵



汽車土瓶(明石城武家屋敷跡:明石市・栄根遺跡:川西市)当館蔵

## 《講演会・イベント情報》

【講演会】

会場／当館講堂

時間／13:30～15:00(12:50より整理券配布)

定員／120名 参加費／無料・当日受付

10月11日(土)

「日本の鉄道技術と兵庫—それは兵庫から始まった—」

小野田 滋

( (公財) 鉄道総合技術研究所情報管理部担当部長 )

10月18日 (土)

「播但線の物語」

長濱誠司

((公財)兵庫県まちづくり技術センター副課長)

11月8日 (土)

「山陰山陽連絡鉄道敷設計画と播磨・境ルートの検証」

小西伸彦（吉備国際大学外国語学部准教授）

11月22日 (土)

「明治の兵庫県と鉄道網」

松下孝昭（神戸女子大学文学部教授）

【イベント】

- (1) 10月4・5日(土・日) 12:00~15:30  
鉄道模型を楽しもう！  
(鉄道模型走行会：Nゲージの走行会)  
(協力：明姫鉄道模型クラブ)
- (2) 10月26日(日) 13:00~16:00  
定員／20組 (要予約) 参加費／1,000円  
親子でボトルシップをつくろう！  
(協力：神戸海洋博物館ボトルシップ愛好会)
- (3) 11月9日(日) 9:30~12:30  
定員／40名 (要予約) 参加費／200円  
廃線ウォーク「別府鉄道を歩く」※別途観覧券要  
講師：別府鉄道元常務 工藤司郎
- (4) 11月15・16日(土・日)  
15日 12:00~15:30 16日 10:00~15:30  
ミニSLやミニ特急列車に乗ろう！(ミニ鉄道走行会)  
(協力：OSライブスチームクラブ)
- (5) 11月23・24日(日祝・月振休)  
考古博であそぼう「鉄道ごっこ」12:30~15:30  
鉄道模型を楽しもう！ 12:00~15:30  
(鉄道模型走行会：Nゲージの走行会)  
(協力：明姫鉄道模型クラブ)を併催
- (6) 紙芝居「きかんしゃベッシー」  
日時：会期中の毎土・日曜日 13:00~13:20  
※11月23日(日祝)を除く

【関連展示】

- (1) 大阪一神戸間開業140周年記念写真展(特別展会期中)  
西日本旅客鉄道株式会社神戸支社
- (2) 鉄道写真展〈10月11日(土)～10月26日(日)〉  
関西レイルウェイフォトグラファーズサークル



## ドキドキ、ワクワク 今年もやります！ 「全国古代体験フェスティバル」

平成26年11月1日(土)

全国に美術館や動植物園、水族館等を含めた博物館数は、5700館あまり。そのうち、歴史系博物館は約半数を占めます。これら多くの施設では、展示の理解を深めるために、様々な体験講座を行っています。当館でも開館当初から体験学習室で、まが玉や火おこし、組紐などの古代体験を常時行うとともに、さらに専門的な体験講座も開催しています。



このような全国各地で行われている様々な古代体験が、11月1日(土)に、ここ兵庫県立考古博物館に大集合します。平成20年度から行っている「考古博古代体験・秋まつり」が、今年は装いも新たに『全国古代体験フェスティバル』と名称を変更し、よりパワーアップして開催されます。全国各地の古代体験が大規模に集まるこのような機会は国内唯一のイベントといってもよいでしょう。

さらに同時開催される「大中遺跡まつり」との相乗効果で、来場者は年々増加しています。

出展は、初参加の北海道・旭川市博物館をはじめ、全国各地の博物館や埋蔵文化財センターなど約30ブース。昨年に引き続き、海外からは台湾の新北市立十三行博物館も参加します。地元にも古くから伝わるものづくりや、遺跡から出土したものを実際に再現するものまで、工夫をこらした選りすぐりの古代体験メニューがやってきます。

パソコンやゲームなどの仮想世界が氾濫し、情報があふれている現代においては、古代体験のような体をつかった体験で得る「感覚」がより重視されています。なぜなら体験を通じていろいろなことを感じることで、もっと知りたいという探求心(=好奇心)が芽生えるからです。

これだけの古代体験が一堂に会するまたとない機会。さあ！子供だけではなく、大人もぜひ、全国の様々な古代体験にチャレンジして好奇心の扉を開いてみませんか。

(学習支援課 松岡千寿)



### 阪神淡路20年～1.17は忘れない～ 県民総参加「減災」キャンペーン実施中！

耐震化・室内安全対策・備蓄・避難の4つを重点目標に県内各地で防災訓練や室内安全対策の講習会等が開催されます。

【お問い合わせ】

ひょうご安全の日推進県民会議事務局  
電話078-362-9832



主な参加団体(予定)

新北市立十三行博物館(台湾)、旭川市博物館(北海道)、御所野縄文博物館(岩手県)、奥松島縄文村歴史博物館(宮城県)、津南農と縄文の体験実習館「なじよもん」(新潟県)、鳥取県立むきばんだ史跡公園(鳥取県)、島根県立古代出雲歴史博物館(島根県)、高知県埋蔵文化財センター(高知県)、九州国立博物館(福岡県)、熊本県立装飾古墳館(熊本県)、鹿児島県上野原縄文の森(鹿児島県)、沖縄県埋蔵文化財センター(沖縄県)等



## 企画展予告

## ひょうごの遺跡2015

—調査研究速報—

平成27年1月17日(土)～3月29日(日)

兵庫県が実施した最新の調査研究成果をご覧いただく企画展です。

今回は、平成25年度に刊行した15冊の発掘調査報告書に収録された主な遺跡と、平成26年度に発掘調査されたばかりの遺跡を取り上げます。その中から二つ見どころを紹介します。

神子曾遺跡（南あわじ市）では、縄文時代中期の集落から縄文土器（船元Ⅲ式）と石器群が見つかったほか、弥生時代中期の18基の方形周溝墓群と住居跡などが調査され、周溝

墓に供献された土器が出土しています。このことから、淡路島における弥生時代の墓制の一端がわかってきました。

片山古墳（養父市）は、戦国時代の山城、井垣城跡の調査時に発掘調査されました。4基の木棺墓群と1基の土器棺と1基の土壇墓が見つかりました。古墳時代初頭の木棺墓の供献土器・鉄器と古墳時代前期の土器棺が見つかりました。

（学芸課 岡崎正雄）



神子曾遺跡 弥生時代周溝墓の土器



片山古墳 古墳時代の土器と鉄器

## 海外の博物館との交流

台湾の新北市立十三行博物館からの招待を受け、4月25日～27日にかけて、博物館運営に関するシンポジウムと「考古生活フェスティバル」に参加しました。平成24年度から3年続けての参加です。

当館のほかに、海外からは、日本・中国・韓国から4館が招待されていました。25日のシンポジウムでは当館石野館長が基調講演を行いました。

また、26・27日のフェスティバルは2日間で約24,000人の入場者がありました。



シンポジウムでの記念写真

当館でも人気プログラムである組紐と木簡名札を披露したところ、持参した材料（合計550セット）が全てなくなるほど大人気でした。

（学芸課 村上賢治）



## 研究ノート

おおちのうまや

## 古代官道「大市駅家と山陽道」

当館では調査研究事業の一つとして開館以来「古代官道の調査研究事業」を実施しています。

山陽道の賀古駅家推定地である古大内遺跡（加古川市）や仮称邑美駅家推定地である長坂寺遺跡（明石市）の調査で得た大きな成果は、平成26年特別展「古代官道山陽道と駅家－律令国家を支えた道と駅－」で公表しました。



山陽道駅路側溝から大市駅家推定地を臨む

平成25年度からは『播磨国風土記』に記載のある「邑智駅家」（『延喜式』では大市駅家）の調査を開始しました。大市駅家に推定されている姫路市太市中周辺は、圃場整備が行なわれていないため昔の景観が残り、小字名「馬屋田」「前田」や山の名前として「馬山」の地名が残っています。さらに古くから古代瓦が集中して採集できる地点（向山遺跡）も知られています。

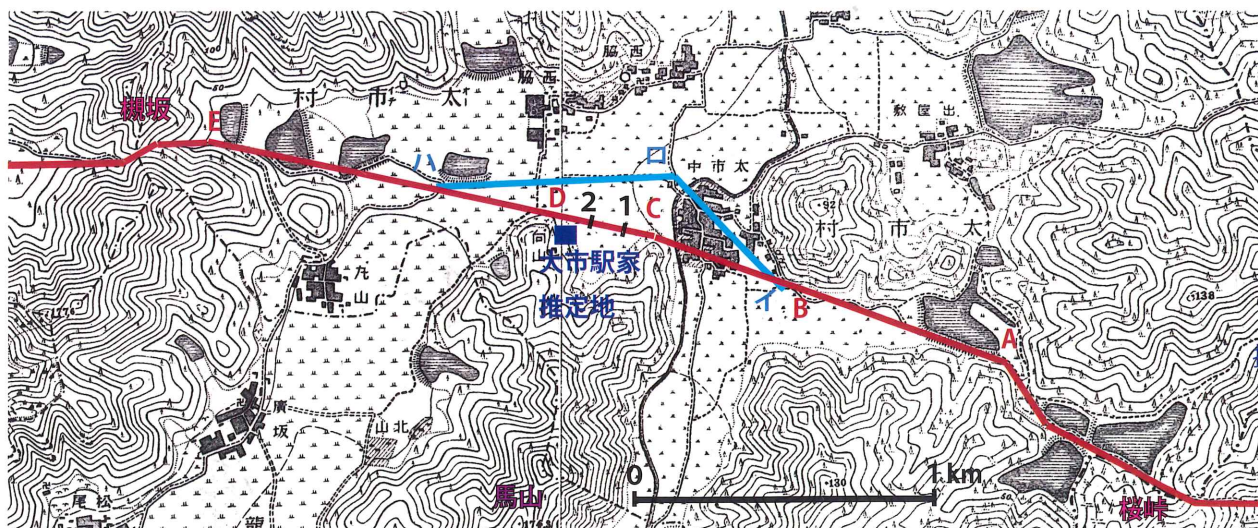
播磨国内の山陽道駅路は条里の研究などによりかなり解明されてきています。また、発掘調査の成果から、駅家は駅路に接して設置されていることも判明してきています。したがって駅路の確定は駅家の場所の特定とも密接にかかわっています。

大市駅家周辺では、桜峠から槻坂の間の駅路が確定しておらず、二つの説が提示されていました（下図）。赤線は（A－E）山裾を最短距離で結ぶ説、青線は斜行する現道（イ－ロ）と大字界（ローハ）を通る説です。斜行する現道は、地籍図などの検討により昭和8年に新たに作られた道であることがわかりました。そこで、今回は赤線の説をもとに小字「馬屋田」に2本の調査区（1、2）を設け確認調査を実施しました。

調査の結果、西側の調査区2では南側に溝、北側に落ち込みを検出したことから、幅約14mの古代山陽道であることがわかりました。また、土器のほかに古代瓦が多く出土しました。

赤線の説が裏付けられるとともに、多数の古代瓦が採集できることから大市駅家と推定されていた地点（■）が駅路にも接することになり、一段と駅家である可能性が高まりました。今後の調査にご期待ください。

（学芸課 篠宮 正）



大市駅家推定地と山陽道駅路推定（明治40年大日本帝国陸地測量部2万分1地形図「龍野」「姫路北部」を縮小・加筆）



## 「恋するフォーチュンクッキー 考古博ver.」 公開中！

「♪恋するフォーチュンクッキー！未来はそんな悪くないよ Hey! Hey! Hey!・・・」。今春のセンバツ高校野球大会の行進曲にも使われたアイドルグループのヒット曲。その曲に合わせてダンスを踊りYou Tubeに動画を投稿するということが昨年注目を集めました。

「考古博物館でも同様な動画を制作し投稿すれば、博物館のことをもっと多くの人に知ってもらえるのではないか。」3年前までは同じ博物館の職員として働いていた公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部の若手職員の熱い思いが、館長の心を、しいては博物館を動かし、平成26年1月から制作がスタートしました。

双方の職員を中心に、ボランティア、堅穴住居復元プロジェクトに参加している国立明石工業高等専門学校やいなみ野ため池ミュージアム運営協議会の方々、当館で行われた子どもファッションショーに出演してくれた子供たち、そしてはばタンにも参加してもらいました。

執務に支障がでないよう昼休みなどを利用して撮影しましたので、思うようにはかどらず、いつ

出来上がるのかとヤキモキしました。館内や大中遺跡公園、発掘現場、ヨシ刈りを行った加古大池などを舞台にした各場面を編集し、ようやく3月下旬に完成。3月27日に公開しました。

ダンスは最真目に見ても上手いとは言えませんが、できることなら何にでも挑戦しようという考古博物館の柔軟な発想と意気込みを感じていただければと思います。これからは様々なことにチャレンジしてゆきますので、ご期待ください。

♪「恋するフォーチュンクッキー考古博ver.」で検索ください。♪



## 県立高校生によるスマホアプリ「博物館ナビ」の開発

スマートフォンを「博物館」のナビとして活用することによって、博物館をもっと能動的に楽しんでもらおう。近年、めざましい普及を遂げるスマートフォンを利用したアプリ開発を博物館と高等学校が協働で行う3ヶ年事業が県教育委員会の企画により昨年度から始まりました。

博物館でのアプリ利用は東京国立博物館や大阪歴史博物館で先行事例があり、学校でのアプリ開発も佐賀県立鳥栖商業高等学校ほかの制作例がありますが、博学協働での開発は今回が初めてです。

アプリ開発は、(株)アイエンターの支援の下、県立兵庫工業高等学校と県立姫路商業高等学校の生徒がデザインとプログラム作成を行い、コンテンツは博物館（考古博物館・歴史博物館）が提供しました。

大阪歴史博物館のアプリを体験したり、両館を見学したりしながら、製作するアプリのイメージを膨らませてゆきました。アプリ開発なんて初めての高校生にとっては、限られた時間の中、プログラミング言語の習得から取り組み、エラーの回復などにも随分と苦労があったようです。我々も

展示物を奥深く知ってもらおうと、発掘時の様子や拡大写真など使い簡潔に解説するコンテンツ作成に努めました。

平成26年3月8日から供用開始されていますので、是非一度体験して下さい。

※アンドロイド端末のみの対応です。  
ご了承下さい。



(企画広報課 藤田 淳)



## イベント・スケジュール

10 月	分類	名 称
4(土)	展覧会	特別展「鉄道がきた!ー舟運・海運・馬車道・鉄道ー」開幕
4(土)・5(日)	イベント	鉄道模型を楽しもう!(鉄道模型走行会)
11(土)	講演会	特別展講演会 「日本の鉄道技術と兵庫ーそれは兵庫から始まったー」 小野田 滋 ((公財)鉄道総合技術研究所情報管理部担当部長)
11(土)	解 説	バックヤード見学ツアー
18(土)	体験講座	赤米をつくろう〜稲刈り〜
18(土)	講演会	特別展講演会「播但線の物語」 長濱誠司 ((公財)兵庫県まちづくり技術センター副課長)
26(日)	イベント	親子でボトルシップをつくろう!
11 月		
1(土)	イベント	全国古代体験フェスティバル
8(土)	講演会	特別展講演会 「山陰山陽連絡鉄道敷設計画と播磨・境ルートの検証」 小西伸彦 (古備国際大学外国語学部准教授)
8(土)	解 説	バックヤード見学ツアー
9(日)	ツアー	廃線ウォーク「別府鉄道を歩く」
15(土)	体験講座	本格土器づくり工房 ー動物埴輪編ー
15(土)・16(日)	イベント	ミニSLやミニ特急列車に乗ろう!(ミニ鉄道走行会)
22(土)	講演会	特別展講演会「明治の兵庫県と鉄道網」 松下孝昭 (神戸女子大学文学部教授)
23(日)・24(月)	イベント	鉄道模型を楽しもう!(鉄道模型走行会)
23(日)・24(月)	イベント	考古博であそぼう「鉄道ごっこ」
24(月)	展覧会	ふるさと発掘展「古代山陽道と野磨駅家」開幕
29(土)	体験講座	ループ組紐・アクセサリ製作(応用編)
30(日)	展覧会	特別展「鉄道がきた!ー舟運・海運・馬車道・鉄道ー」閉幕
12 月		
6(土)	体験講座	チャレンジ!銅鏡づくり
6(土)	講演会	考古学研究最前線4「兵庫の城郭」 永恵裕和 ((公財)兵庫県まちづくり技術センター)
13(土)	体験講座	古代文字でカレンダーをつくろう
13(土)	解 説	バックヤード見学ツアー

- 「石棺に入ろう」は毎週土曜日、「古代船に乗ろう」は毎週日曜日に実施。14:00〜15:00
- 休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)
- 体験講座は事前予約が必要なものがあります。TEL079-437-5564(学習支援課)
- イベントについての詳細情報は当館ホームページ・チラシでご確認ください。

12 月	分類	名 称
20(土)	講演会	考古学研究最前線5 「滑石・竜山石・御影石の流通ー勾玉・石棺から狛犬までー」 渡辺 昇 ((公財)兵庫県まちづくり技術センター副課長)
24(水)〜30(火)		メンテナンス休館
1 月		
3(土)	イベント	書き初め
3(土)	イベント	考古博カルタ大会
10(土)	解 説	バックヤード見学ツアー
17(土)	展覧会	企画展「ひょうごの遺跡2015ー調査研究速報ー」開幕
17(土)	講演会	阪神・淡路大震災20周年講演会
18(日)	イベント	震災20周年シンポジウム
24(土)	講演会	阪神・淡路大震災20周年講演会
31(土)	講演会	阪神・淡路大震災20周年講演会
2 月		
1(日)	体験講座	節分ー鬼瓦のお面で鬼退治ー
7(土)	講演会	阪神・淡路大震災20周年講演会
7(土)・14(土)	体験講座	連続講座! 本格土器づくり工房 ー弥生土器編ー
14(土)	講演会	考古学研究最前線6「淡路最大級の周溝墓群ー神子首遺跡ー」 藤田 淳 (当館企画広報課長)
14(土)	解 説	バックヤード見学ツアー
21(土)	講演会	考古学研究最前線7「平福御殿敷跡の調査」 山上雅弘 (当館学芸員)
3 月		
1(日)	イベント	ひなまつりーハニワのおひな様をつくろうー
7(土)	講演会	考古学研究最前線8「兵庫の鉄生産」 村上泰樹 ((公財)兵庫県まちづくり技術センター次長)
14(土)	講演会	発掘調査速報会
14(土)	解 説	バックヤード見学ツアー
21(土)・22(日)	イベント	考古博であそぼう
28(土)	講演会	考古学研究最前線9「ひょうごの遺跡で判った縄文世界!」 深井明比古 (当館事業部長)
29(日)	展覧会	企画展「ひょうごの遺跡2015ー調査研究速報ー」閉幕

## 兵庫県立考古博物館NEWS vol.14 2014 Autumn-Winter

発行年月日 平成26年8月31日

編集・発行 兵庫県立考古博物館

〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1

TEL.079-437-5589

FAX.079-437-5599

<http://www.hyogo-koukohaku.jp/>

(BLOG) <http://koukohaku.blogspot.jp/>

最新情報はホームページ・スタッフブログをごらん下さい。

- 電車をご利用の方/JR土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分  
山陽電車播磨町駅から喜瀬川沿いを徒歩25分
- お車をご利用の方/第2神明・加古川バイパス明石西ICから約3km
- 駐車場/町営大中遺跡公園駐車場・野添であい公園駐車場をご利用  
ください(普通車1回200円)



触れる・体感する、考古学のワンダーランド。  
**兵庫県立考古博物館**

